

Eigen Factor?

EigenFactorは2009年1月からあのImpactFactorを出し
学界に影響を与え続けるThomsonReuterが採用したことで
俄然脚光を浴びています。

ImpactFactorの欠点を十分に検討して作られており、
ランキングを見ると、有名な雑誌が各分野偏りなく上位に入るとい
非常に「実感」に近いものとなっています(下記表参照)。

ImpactFactorとどう違うのか、以下に概観してみたいと思います。

(資料抜粋: Journal Citation Reports 2007)

比較! ImpactFactor/EigenFactor上位5誌

in
JAPAN

日本の理系学術雑誌

ImpactFactorでは、論文数の少ないものが上位に来ているのに対して、
EigenFactorでは多いものが上位に来ている。

【国内ImpactFactor上位5誌】

分野・Journal	論文数	ImpactFactor	順位	EigenFactor	順位
化学 J PHOTOCH PHOTOBIO C	786	1位	→	58位	
生物学 PLANT CELL PHYSIOL	7489	2位	→	4位	
医学 CANCER SCI	2604	3位	→	9位	
医学 HYPER TENS	2303	4位	→	23位	
医学 J ATEROSCLER THROMB	786	5位	→	ランク外	

【国内EigenFactor上位5誌】

分野・Journal	論文数	EigenFactor	順位	ImpactFactor	順位
物理学・工学 JPN J APPL PHYS	29077	1位	→	40位	
物理学 J PHYS SOC JPN	15193	2位	→	11位	
化学 CHEM LETT	14299	3位	→	27位	
生物学 PLANT CELL PHYSIOL	7489	4位	→	2位	
工学 MATE TRANS	6146	5位	→	56位	

the whole
WORLD

全世界の学術雑誌

ImpactFactorとEigenFactor両方上位に顔をだすのは、
あのNatureとScienceのみで、ほとんど完全に入れ替わっている。

【全世界ImpactFactor上位5誌】

Journal	論文数	ImpactFactor	順位	EigenFactor	順位
CA-CANCER J CLIN	6021	1位	→	ランク外	
NEW ENGLAND J MED	186402	2位	→	ランク外	
ANNUAL REV IMMUNOL	15507	3位	→	ランク外	
REV MOD PHYS	22606	4位	→	ランク外	
NAT REV MOL CELL BIOL	16584	5位	→	ランク外	

【全世界EigenFactor上位5誌】

Journal	論文数	EigenFactor	順位	ImpactFactor	順位
NATURE	417228	1位	→	10位	
P NATL ACAD SCI USA	394223	2位	→	ランク外	
SCIENCE	382472	3位	→	14位	
J BIOL CHEM	407853	4位	→	ランク外	
PHYS REV LET	282787	5位	→	ランク外	

論文数 (CITES) の与える影響

ImpactFactor は単純に言えば、「引用された数 (被引用) ÷ 論文数」です。引用された数が少なくても、論文数がそもそも少なければ、ImpactFactor の数字は大きくなります。分数ですから分母が小さいという効果は大きく、ImpactFactor の上位には論文数の少ない雑誌が載りやすいのです。このことが ImpactFactor の値がいわゆる「実感」とかけはなれているということの原因でもあります。逆に EigenFactor は論文数の多い雑誌に高めにでるという傾向があります。

Review誌の特性

ある分野を勉強するとき、まずは原著論文よりも、その分野を概観した Review を参照するのは研究者として当然ですから、Review 誌は被引用が多くなります。その割に Review という性質上、原著論文より論文数が少ないので、当然 ImpactFactor は上がります。これは ImpactFactor 批判の際に必ず言われてきたことですし、単純に ImpactFactor をあげるテクニックとして Review を増やすということはよく行われてきました。EigenFactor ではこの点もかなり是正されており、ImpactFactor で上位にあった Review 誌は、EigenFactor では軒並み下位に落ちています。

EigenFactorの原理

研究者は引用文献からある文献に興味を持ち、その文献の載っている雑誌を探します。当然ながら、被引用が多い雑誌はこの引用文献リストから探しだされやすく、多くの研究者がたどりつきます。すなわち「**被引用の多い雑誌は重要度が高い**」ことになります。ここまでは ImpactFactor でも使われていた考え方でした。しかし、これだけでは ImpactFactor を上げるために無理矢理引用を続けるという行為でも重要度が上がってしまいます。そこで EigenFactor では新しい考え方「**引用する雑誌が少ない方が重要度が高い**」を持ち込みます。

ある雑誌 A が 10 回、別の雑誌 X を引用し、ある雑誌 B は 100 回、X を引用したとします。X の重要度が本当は同一だとすると、A の引用は B の引用の 10 倍価値があることになります。こうして EigenFactor では個々の引用に重み付けを行います。実感としても、めったやたらにそこら中の文献を引用してそれ自身は引用されない文献より、自身はほとんど他の文献を引用しないのに多く引用される文献の方が重要度が高いことは納得できるでしょう。

このように EigenFactor は小手先のテクニックの効きにくい、かなりシビアな指標です。もちろん EigenFactor ではさらに修正がほどこされており、その数式は ImpactFactor に比べて遙かに難しく、理解するには線形代数や統計学といった大学理系の数学知識が必要です。

中西印刷のホームページでは、さらに詳しく解説をしています。興味をお持ちの方は是非、下記アドレスまで。

EigenFactorとは

http://www.nacos.com/nakanishi/103_eigenfactor.html

EigenFactorの数学的基礎

http://www.nacos.com/nakanishi/104_abouteigen.html

世界の電子ジャーナル

Online Journal around the world



第4回 / DOIとは

DOIとは?

DOIとは Digital Object Identifier の略語で、インターネット上で電子ジャーナルの所在地を示すための世界共通のコード体系です。DOIは非常利団体出版社国際リンクング連盟 (Publishers International Linking Association, Inc.: PILA) が運営する CrossRef という団体によって管理されています。

DOIは具体的には以下のようなコードになっています。(参考: 生物工学会英文誌「JBB」)

DOI:10.1263 / jbb.104.157

ここで 10.1263 は JBB に付けられた固有のコード番号です。このあとに / jbb. が続きますが、ここまでは JBB のすべての論文に共通の部分です。そのあとの 104.157 は Vol.104 の 157 ページから始まる論文を意味します。この DOI を使って各論文に直接リンクを貼ることができます。

[http:// dx.doi.org / 10.1263 / jbb.104.157](http://dx.doi.org/10.1263/jbb.104.157)

このようにブラウザに入力すると、当該論文のページに直接ジャンプします。

DOIを利用すれば CrossRef が存在する限り将来に渡ってリンクが保証されます。

CrossRefとは?

電子ジャーナルの参考文献から他社の電子ジャーナルへリンクし、その場でフルテキストを閲覧できる相互リンクシステムを CrossRef (団体名でもありません) といいます。電子ジャーナルを刊行する出版社がその数を増すにつれて、複数の出版社のジャーナルを横断するリンクング・システムに対する要求が新たに生まれてきました。そしてこの期待に応えるために、1999年に開発されたリンクング・システムが CrossRef です。2000年に10出版社の2,700タイトルから130万件の論文メタデータを収集し、リンクング・サービスを開始し、2002年に日本で J-STAGE が CrossRef に正式参加しました。

多くの提供元がこの CrossRef に参加しているため、DOIによって参考文献から次々とフルテキストに到達することができます。

始めませんか

カラーユニバーサルデザイン

CUD

「十人十色」という言葉を体現するもの、それは「色覚」ではないでしょうか。色の見え方は多様で、時には正確な情報として伝わらないことも……。ここでは、より多くの方に正確に伝わる図表作成の工夫をご紹介します。

ここは**重要**です> ここは**重要**です

ここは**重要**です> ここは**重要**です

「赤+黒」にご用心

赤色は強調や注意を促す色として使われがちですが、暗いトーンに見え、背景色や本文にも暗いトーンが使用されると判別がつきにくくなってしまふ方もおられます。



改善

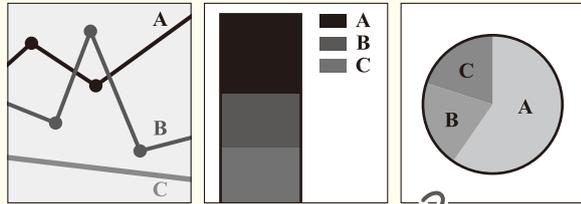
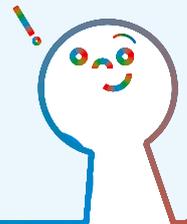
ここは**重要**です> ここは**重要**です

ここは**重要**です> ここは**重要**です

ここは**重要**です> ここは**重要**です

朱色や縁取りで分かりやすく

赤色を朱色にし、色の組合せやフォントを変えたり、縁取りや下線を加えたりすることで視覚効果を高め、分かりやすくすることができます。

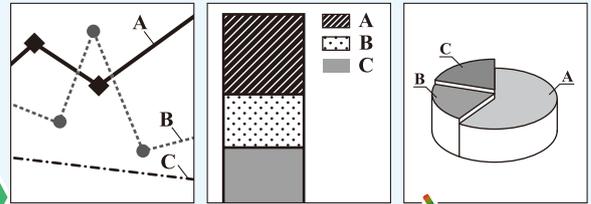


一目で分かるはずのグラフも

折れ線グラフ・棒グラフなどの項目も、使用される色の見え方や組合せにより判別されにくいときがあります。



改善



「描き分け」で分類しましょう

線種や模様、立体化や引き出し線で項目を分かり易くすることができます。
棒・円グラフの境界は枠線などで区分けしましょう



ここは**重要**です> ここは**重要**です

ここは**重要**です> ここは**重要**です

ここは**重要**です> ここは**重要**です

「グレー変換」でチェック

見分けやすさをチェックするには「グレー」に変換する方法が手軽です。
Office2007シリーズのPowerPointにはグレースケール変換機能があり、確認することができます。



最近、「ユニバーサルデザイン」という言葉をよく耳にします。

より多くの人々に、より正確に情報を伝える有効な考えとして浸透し始めています。

今回はほんの一部のご紹介でしたが、色覚に関することは手軽に取り入れられることが多いと思います。是非、お試しください。



【参考資料】

日高裕明「カラーユニバーサルデザイン」2009年・ハート出版
みやこユニバーサルデザイン「わかりやすい印刷物のつくり方」京都市

NACOSスクラップ情報

「本はいま」の欄で常世田 良氏（日本図書館協会理事）が報告
(2009年6月25日京都新聞朝刊より)

●今年2月以降、アメリカインターネット検索最大手グーグルの書籍検索システムに関する権利者団体との和解案が議論を呼んでいる。●グーグルの侵攻に対して、ヨーロッパでは欧州連合(EU)が域内の書籍や芸術作品をオンラインのウェブで閲覧できるデジタル図書館「Europeana」を昨年11月に公開。2010年に正式オープンする。1億2000万ユーロの予算を投入している。●韓国では国立中央図書館が今年5月に国立デジタル図書館「Dibrary」を開館。韓国では出版から5年経った書籍に対して補償金を支払ってデジタル化し図書館相互の通信が可能となる法整備も進んでいる。●氏はこう指摘する。現在は情報や著作権に関する法律や条約を自国に有利にする事で、莫大な利益を上げる事が可能。著作権・知的財産権は単に著作権者の権利を守るだけでなく、貿易問題や経済問題としての国家的な政策が必要。世界中の本を利用者に提供できる事が図書館員の究極の夢。全人類の知識の共有化による全人類の進歩という大きな可能性に目を向けるべき。

第34回組織細胞化学講習会
「イメージングテクニックの基礎から応用まで」開催



Japan Society of
Histochemistry and Cytochemistry
Established 1959

〈実行委員長〉石村和敬

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部顕微解剖学分野)

🕒 7月29日(水)～31日(金) / 技術講習会(Wet Lab) 31日

〈定員〉300名(先着順!!)

📍 講習会：徳島大学長井記念ホール

Wet Lab: 徳島大学蔵本キャンパス

Wet Lab コース一覧 ※Wet Labは講習会受講者を対象に行います。Wet Labのみの受講はできません。

コース名	定員	テーマ
Aコース	40名	動物組織(マウス、ラット)を用いた免疫組織化学染色(酵素抗体法)の基礎と実際
Bコース	30名	マウス組織切片を用いたin situハイブリダイゼーション法の実習と基礎知識
Cコース	20名	組織標本における多重蛍光免疫染色法の実際
Dコース	25名	磁気ビーズを使用した細胞分離法の基礎実習
Eコース	20名	レーザーマイクロダイセクション—FFPE標本からのプロテオーム解析、蛍光標識標本への展開—
Fコース	5名	簡便な凍結技法(生体内)一凍結置換固定法の免疫組織細胞化学への応用
Gコース	15名	動物細胞における遺伝子発現解析の基礎知識と実習 ～RNAの精製から、リアルタイムPCR装置による遺伝子発現の解析まで～
Hコース	15名	細胞動態解析装置及びセルカウンター講習
Iコース	15名	川本法による未固定非脱灰凍結切片とパラフィン切片の作製
Jコース	30名	マイクロウェーブを使用した迅速染色(特殊染色・免疫組織化学染色)と応用(パラフィン切片保存シートの活用法)
Kコース	12名	顕微鏡の基礎知識の習得～観察からデジタルカメラによる画像撮影まで～

〈問合せ事務局〉

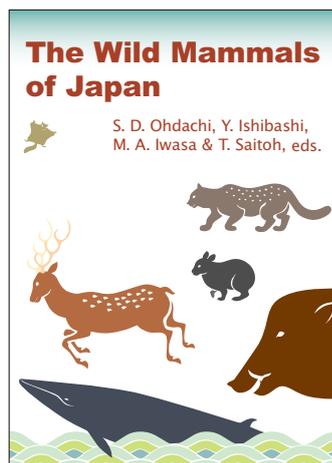
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 顕微解剖学分野

〒770-8503 徳島市蔵本町 3-18-15

☎ 088-633-7050 / ☎ 088-633-9426 / ✉ info_34kjsbc@nacos.com

🌐 <http://www.nacos.com/jshc/kosyu.html>

【オンライン登録はこちらへ】 <http://www.nacos.com/34kjsbc/>



S. D. Ohdachi, Y. Ishibashi, M. A. Iwasa & T. Saitoh, eds.
初回特別価格：¥3,600 (定価：¥5,600)

- ▶ A4版, 544ページ, フルカラー, ハードカバー
- ▶ 日本哺乳類学会によるIMC 9記念出版
- ▶ 著者63名によって日本の哺乳類を完全網羅
- ▶ 出版: 松香堂, 日本哺乳類学会 (2009年7月15日)
- ▶ ISBN: 978-4-87974-626-9

日本の哺乳類を完全網羅 “The Wild Mammals of Japan”

“The Wild Mammals of Japan”は、鯨類を含む日本の哺乳類170種(分類単位を含む)を完全に網羅し、最新知見を盛り込んだ英語版のガイドブックです。

それぞれの種について、レッドリストステータス、分布、化石記録、形態、歯式、乳頭式、遺伝、繁殖、寿命、食性、生息地、行動圏、行動、天敵、寄生虫の情報がまとめられています。また、分類学上の問題、人間との関係なども解説されています。本書ではこれまでの知見がわかりやすく整理されているばかりでなく、「何が分かっていないか」が明示されています。

日本の第一線の哺乳類研究者63名が、コンパクトにかつ渾身の思いを込めて執筆されたものですので、研究者はもちろん、動物園勤務者、教員、学生、一般の哺乳類愛好家の方々にとっても、机上に置いて、いつでも手に取って眺めていただける本であり、是非お薦めしたい書籍です。

【お申し込み方法】 オンライン注文サイト: https://www2.nacos.com/shokado/mammal/index_j.php

※ FAXでのお申し込みも可能です。ご希望の場合は shokadoh@nacos.com までお問い合わせください。